



# 南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R1.11.15 No.72



## ○ 3年生 国語『すがたをかえる大豆』

3年生が国語の学習で、大豆についての説明文に取り組んでいます。

＜大豆の食べ方いろいろ＞

- ・その形のまま煎ったり、煮たりする → 豆まきに使う豆、煮豆
- ・粉に引いて食べる → きな粉
- ・大切な栄養だけを取り出して、違う食品にする → 豆腐(豆乳、ゆば、おから)
- ・目に見えない小さな生物の力を借りて、違う食品にする → 納豆、みそ、しょうゆ
- ・取り入れる時期や育て方を工夫する → 枝豆、もやし



このように、大豆はいろいろな姿で食べられています。大豆の良さに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々には、本当に感心します。

今回、本校の栄養教諭の中村教諭が、大豆から豆腐を作って、3年生に食べてもらいました。子どもたちは、「甘い」「おいしい」と言って、食べていました。大豆本来の味を味わうことができたようです。



## ○ 福井の地場産推進給食

11月13日(水)の給食は、福井県産の材料がたくさん使われていました。その中でも特に、ふくいサーモンについて、学級ごとに説明をしました。

ご飯、牛乳、ポン菓子  
 ふくいサーモンのみぞれかけ  
 野菜の和え物  
 越前生わかめのみそ汁



ふくいけん よう  
**福井県で養しょくされた  
 トラウトサーモン(ニジマス)**

- ①きれいなオレンジ色
- ②上品なほどよいあぶら
- ③もっちりとした肉質
- ④くさみが無い



よう 養しょくで苦勞していること…

淡水から海水に移動するとき突然環境が変わるので、魚に大きなストレスがかかります。ストレスを減らし、上手く育てるために日々工夫を積み重ねています。

「安全・安心な福井育ちのおいしいサーモンを食べてほしい」という思いから、多くの時間をかけて研究し、こだわって育てられているそうです。



とてもおいしく、いただきました。ごちそうさまでした。

## 【校長より】

以前、2年生の算数で、多くの子どもたちが「わからない」と言っていた問題がありました。

【問題】 れいなさんと弟がせいくらべをしています。れいなさんのせの高さは、122cmです。れいなさんは弟より14cm高いそうです。弟のせの高さをもとめるために、しきを122+14とかきましたが、このしきはまちがっています。そのわけと正しいしきをかきましょう。

○わけを書くことができない子 **答え** 弟は、れいなさんよりせが低いからです。

- ・文章の内容が分からず、この式が正しくないということが分からない
- ・理由をきちんと文章で書くことができない、答えの書き方が分からない
- ・れいなさんと弟ではどちらが背が高いのか分かっていない(→絵や線で表す)  
 (→弟のせの高さを求めるのだから、「弟はれいなさんより14cm低い。」と考える。)

○正しいしきを書くことができない子 **答え** 122-14

今まで習ったのは、「ぜんぶで、あわせて」ならたし算、「ちがいは、のこりは」ならひき算。これらのパターンではないから戸惑うのでしょうか。結局、意味が分からなくても、たし算でないのならひき算だと思って、式を立てるかもしれません。

機械的な計算はできる子どもは多いのですが、文章題になると…。文章を読みながら、内容(関係性など)を理解できているかが大事です。読み聞かせでも時々質問を入れてください。また、初見の文章を、おかしな所で区切って読んでないかについてもお確かめください。

共同募金が、27, 356円集まりました。ご協力ありがとうございました。